



Society5.0とトラストサービス

2019年5月

トラストサービス推進フォーラム 企画運営部会長
セイコーソリューションズ株式会社 DXソリューション統括部
柴田孝一



Society5.0 & Trust Service

May 2019

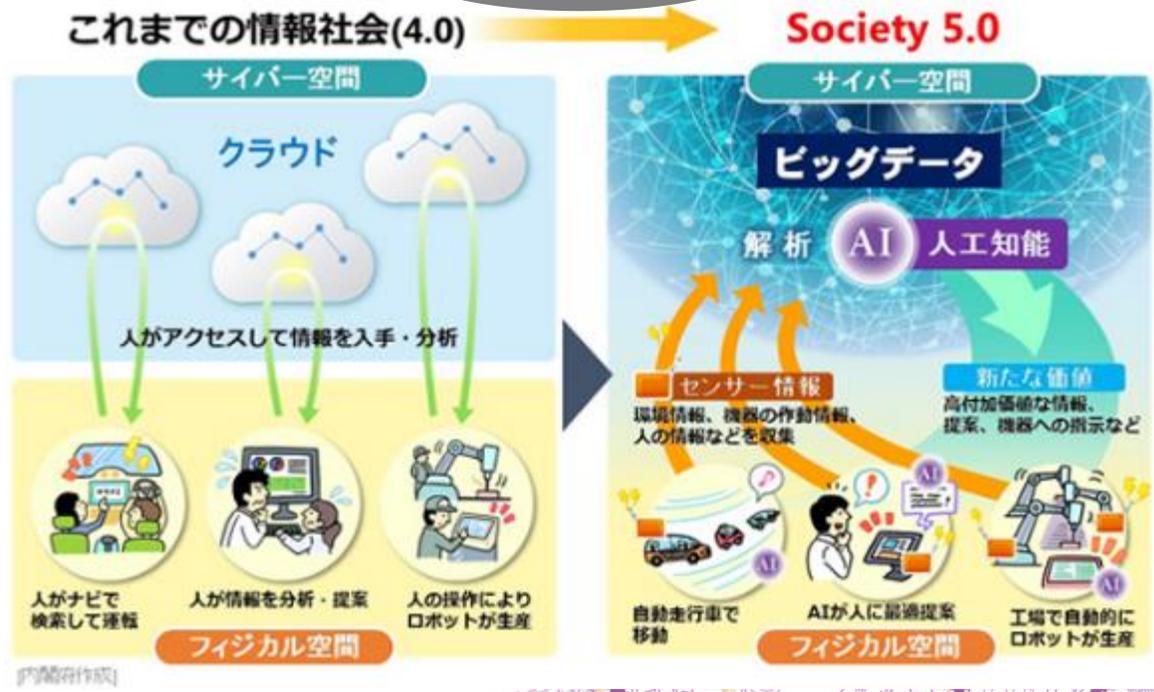
Japan Trust Service Forum Chairman, Steering Committee

Seiko Solutions Inc. DX Solution Div.

Koichi Shibata

JTSF Society5.0 どんな社会になるの？

「データ」がヒトを豊かにする社会



Society5.0
超スマート社会



Society4.0
情報社会



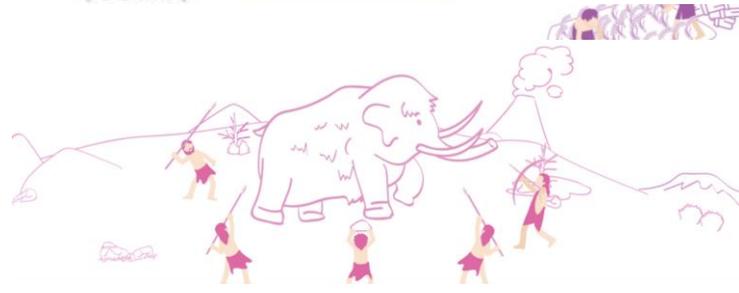
Society3.0
工業社会



Society2.0
農耕社会



Society1.0
狩猟社会



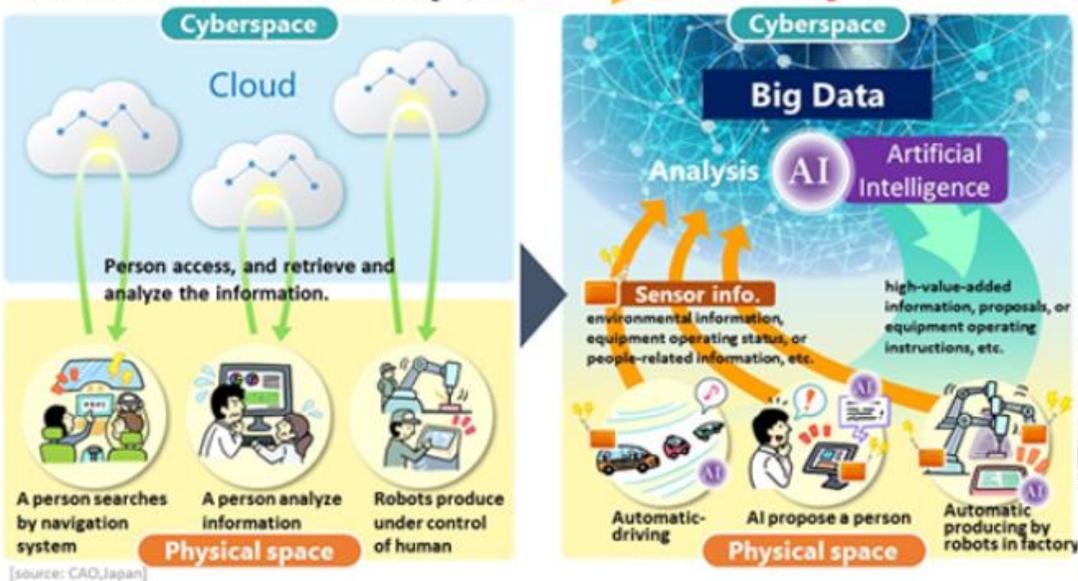
出典 : http://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

JTSF What Society5.0

A society where "DATA" shall enriches people

Current information society (4.0)

Society 5.0



Society5.0
Super smart society



Society4.0
Information



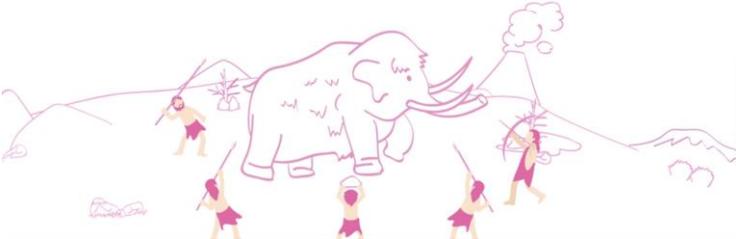
Society3.0
Industrial



Society2.0
Agricultural



Society1.0
Hunting & Gathering



Source : http://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html
https://www8.cao.go.jp/cstp/english/society5_0/index.html

- Society5.0の実現に向けて：TSSFの設立
- 日本のトラストサービス
- 日本におけるトラストサービス検討の課題
- トラストサービス検討ワーキンググループ

- Toward Realization of Society 5.0: Establishment of JTFS
- Trust Service in Japan
- Trust service considerations in Japan
- Trust Service Working Group

- 我が国では、平成13年の「e-Japan戦略」以来、世界で最も整ったインターネット利用環境が構築され、大量のデータが流通し、取引や業務がデジタル情報に依存する社会になってきている。
- またデジタル技術は、情報処理の高度化、情報集積・劣化のない保管の容易化を実現し、通信により空間を超越して情報を瞬時に共有できる社会、時間を超えてあらゆるものがデジタルで記録されて保存される社会、デジタルファーストの時代となりつつある。
- その結果、デジタル技術を高度に活用したイノベーションによる超スマート社会の到来が現実のものとなってきた。

設立趣意書より

- In Japan, since the "e-Japan strategy" in 2001, the world's most complete Internet usage environment has been built, [a large amount of data](#) has been distributed, and it has become a society where [transactions and operations rely on digital information](#).
- In addition, digital technology realizes advanced information processing, ease of storage without information accumulation and deterioration, a society where information can be instantaneously shared [beyond space](#) by communication, and everything is digitally recorded [over time](#) Society that can be saved and saved, it is becoming [the era of digital first](#).
- As a result, [the advent of the ultra-smart society](#) through innovation that makes full use of digital technology has become a reality.

From the charter

デジタルの陥穽

「データ」がヒトを豊かにする社会
(官民データ利活用社会)の実現

- ・デジタルは痕跡無く修正できるので、**情報の改ざん・ねつ造が容易**である。
- ・オンラインでは相手のなりすまし、盗聴の危険性がある。
- ・改ざん、ねつ造の疑惑を取り除くことができない場合、**事後に否認の可能性**がある。
- ・容易にコピーができ、瞬時にして全世界へ発信できてしまうデジタル社会では、かえって**疑心暗鬼を生じさせ、不安な社会を招きかねない**。

現状

- ・デジタルの信頼のベースとなる電子署名法は、民訴法の考え方を踏襲したものであり、デジタル化の促進を目的とするものではない。
- ・タイムスタンプは民間の認定制度であり国際的な保証力を持っていない。
- ・マイナンバーカードが提供されているが、普及率の低さ、制限の多さなどから利用シーンが広がっていない。
- ・一方で、電子署名法準拠や信頼性を謳う民間サービスが出始めているが、その**根拠が不明瞭で、利用者が信頼性を正しく判断できない可能性がある**。
- ・改ざん・ねつ造も可能なメールデータを印刷したものでも証拠となると思われがちなこと、パスワードを掛けることでセキュリティは十分と考えられる傾向がある。



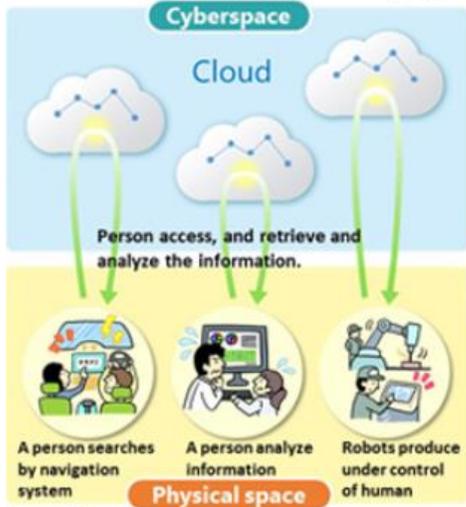
ヒトのみならずIoTが吐き出す膨大なデータをヒトが介在せずコンピュータが解析・生成するデータが社会生活に不可欠となる社会

デジタルデータの利活用による利便性を安全・安心に享受する「超スマート社会」を迎えるためには、流通されるデータの信頼を保証する**トラストサービスの在り方**を検討する必要があると考える。

Digital pitfall

A society where "DATA" shall enriches people

- Since digital can be corrected without trace, it is **easy to falsify information**.
- There is a risk of **spoofing** and eavesdropping.
- There is a possibility of **denial** after the fact that it is not possible to remove the suspicion of tampering or fabrication.
- In a digital society that can be easily copied and transmitted to the whole world in an instant, **it may cause doubts and may lead to an uneasy society.**



A society in which "DATA" analyzed and generated by computers without human intervention is essential for social life from the huge amount of data not only from humans but also from IoT.

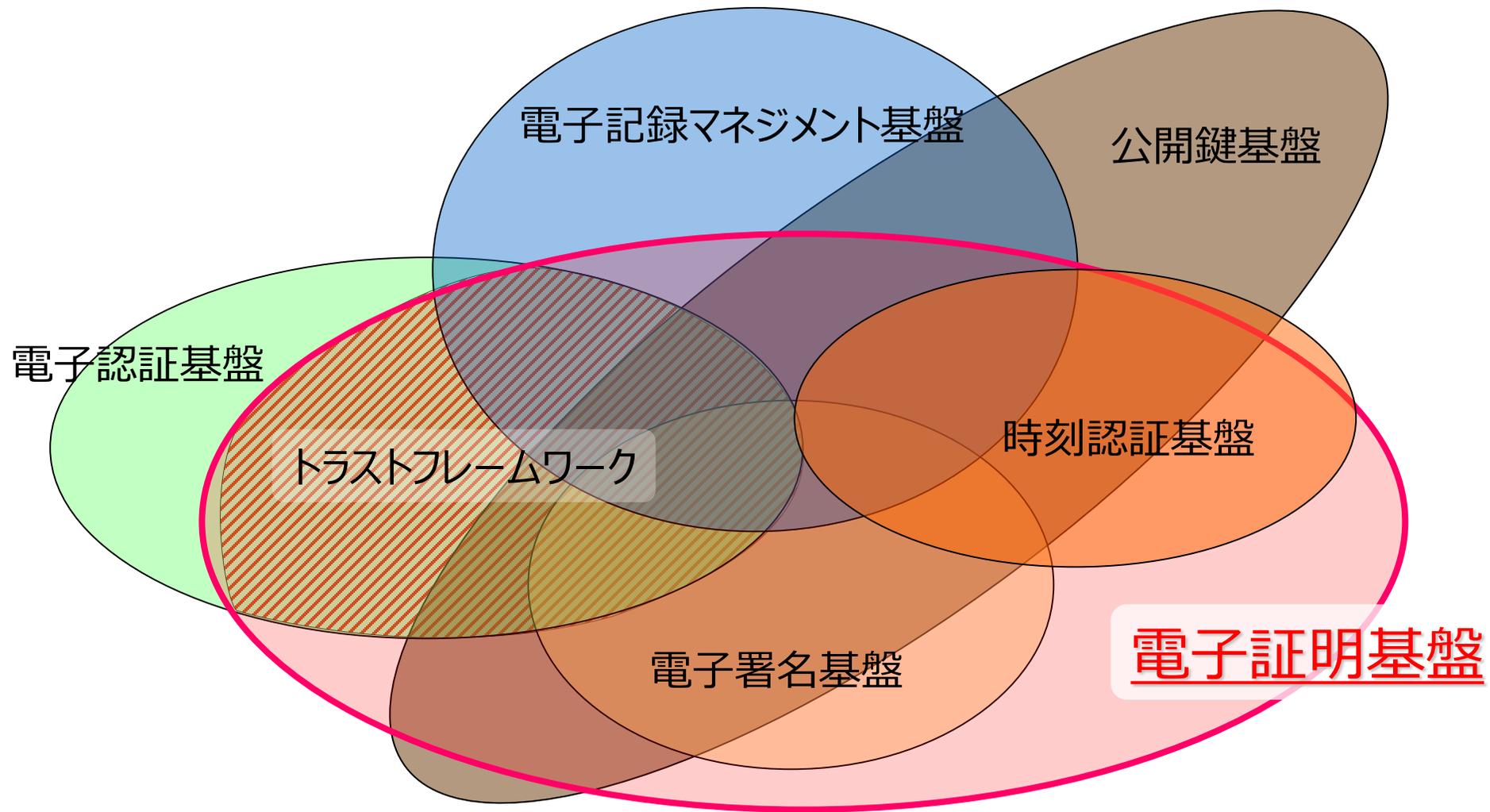
In order to realize the "super-smart society" that enjoys convenience by using digital data safely and security, it is necessary to consider the ideal way of trust service that **guarantees the trust of distributed data.**

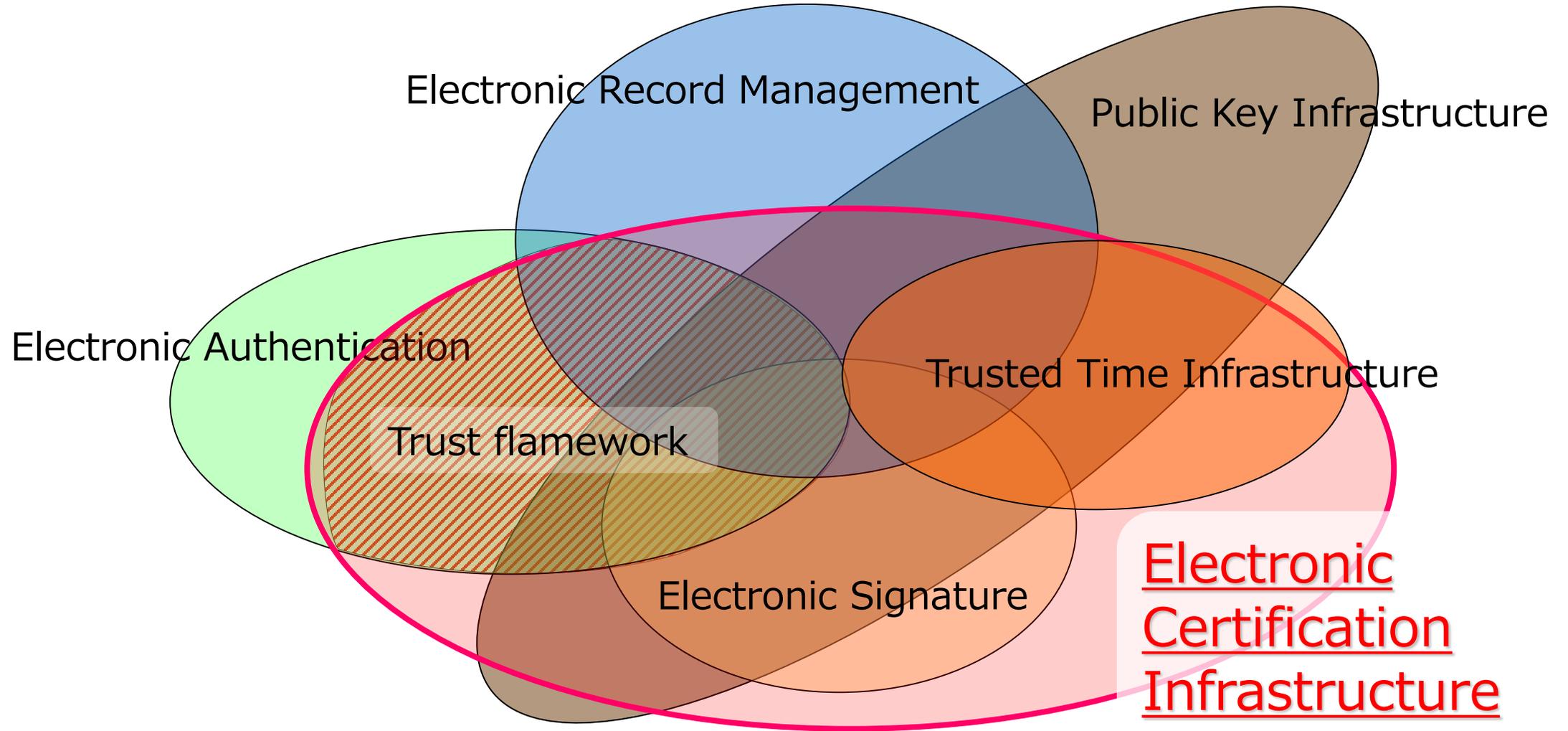
- IoTやAI技術によるリアル世界とサイバー空間を融合したサービス、ビッグデータを活用したビジネスが続々誕生し、これらのサービスが新たな価値や利便性をもたらす一方で、そこで扱われるデータやサービス自体の信頼性・安全性が問題となってくる。
- システムやデータを保護する技術や製品は様々なものがあるが、最終的にそのサービスやデータの利用可否を判断するユーザーが、ネットの向こう側の相手や、そこから送られるデータをどうやって“信頼”すればよいか重要な課題である。
- そこで、“信頼”の根拠となる、相手の認証、データやサービス自体の非改竄性、正当性を確認するための手段を提供する仕組みと基盤が必要となる。

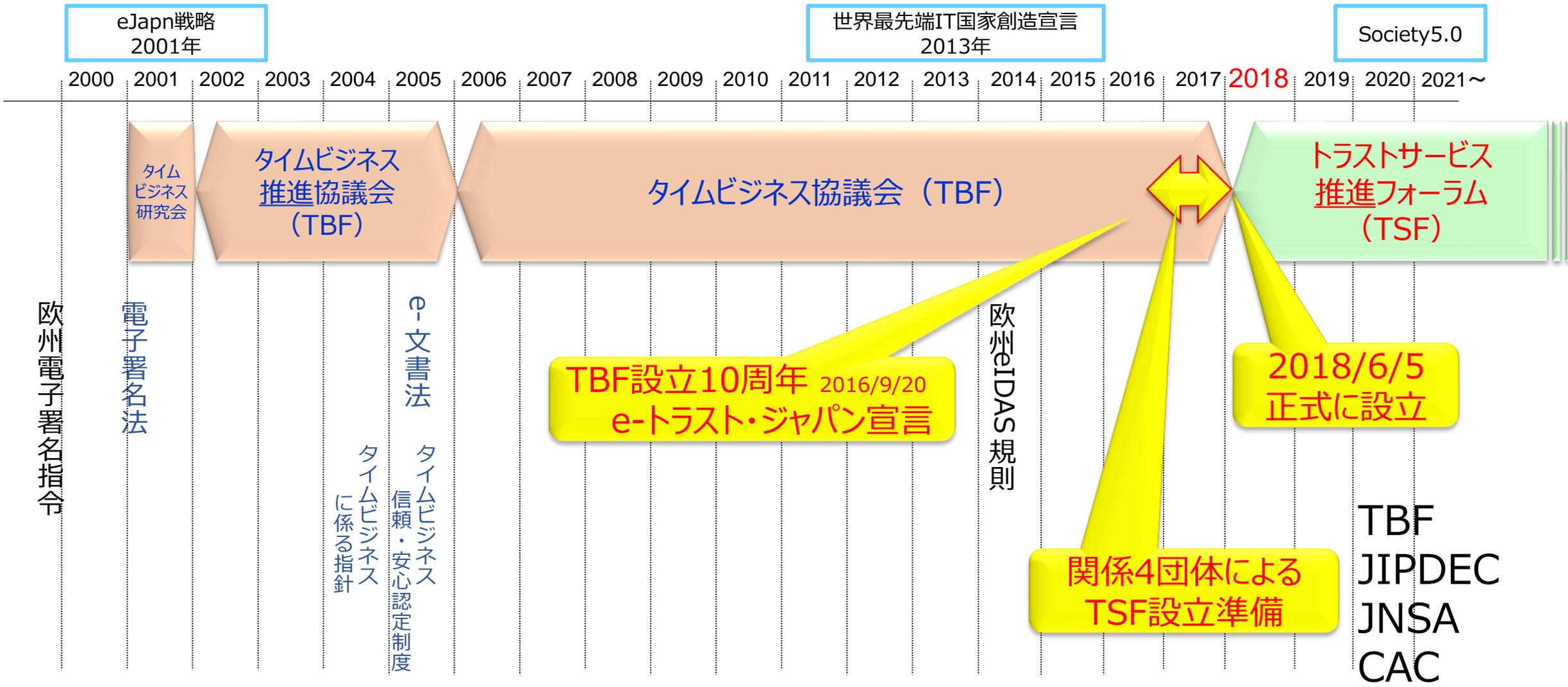
設立趣意書より

- Services that integrate the real world and cyber space by IoT and AI technology, businesses that use big data are born one after another, and these services bring new value and convenience, On the other hand, the reliability and security of the data and services handled there become issues.
- There are various technologies and products that protect systems and data. An important issue is how the user who ultimately determines the availability of the service or data should "trust" the other party on the other side of the net and the data sent from there.
- Therefore, it is necessary to have a mechanism and a foundation to provide means for verifying the other party's authentication, non-falsification of data and services themselves, and legitimacy, which become the basis of "Trust".

From the charter







e-Japn Strategy
2001

A declaration to be the world's most advanced IT nation formulated
2013

Society5.0

2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 **2018** 2019 2020 2021~

Time Business Study group

Time Business Promotion Forum (TBF)

Time Business Forum (TBF)

Japan Trust Service Forum (TSF)

TBF 10th anniversary
2016/9/20
E-Trust Japan Declaration

EU:eIDAS
Preparation by related 4-organizaitions

2018/6/5
Establishment

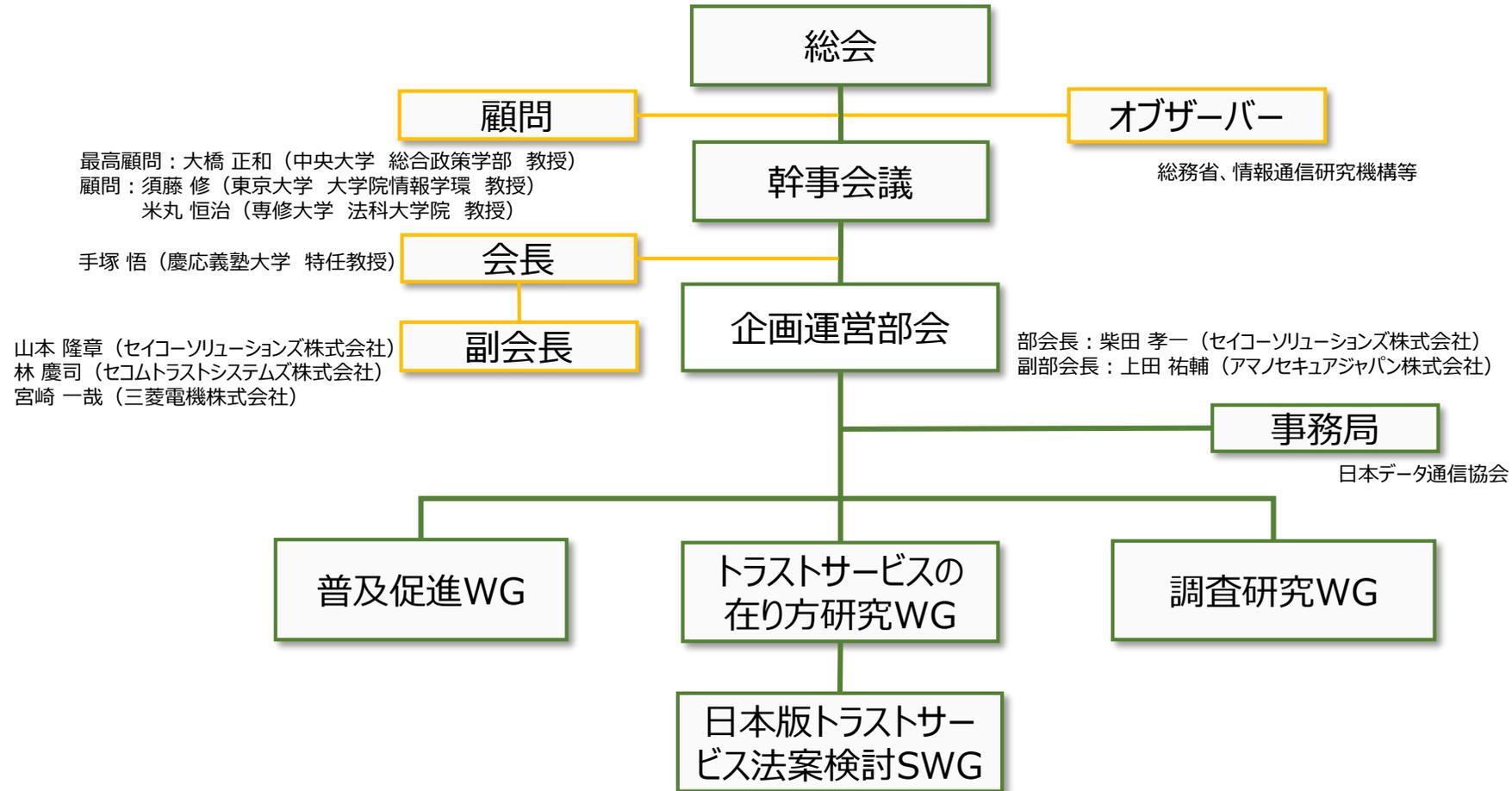
EU:electronic Signature Directive
Act on Electronic Signatures and Certification Business

e-Document Law
Time Business Accreditation Program
The Guideline of Time Business

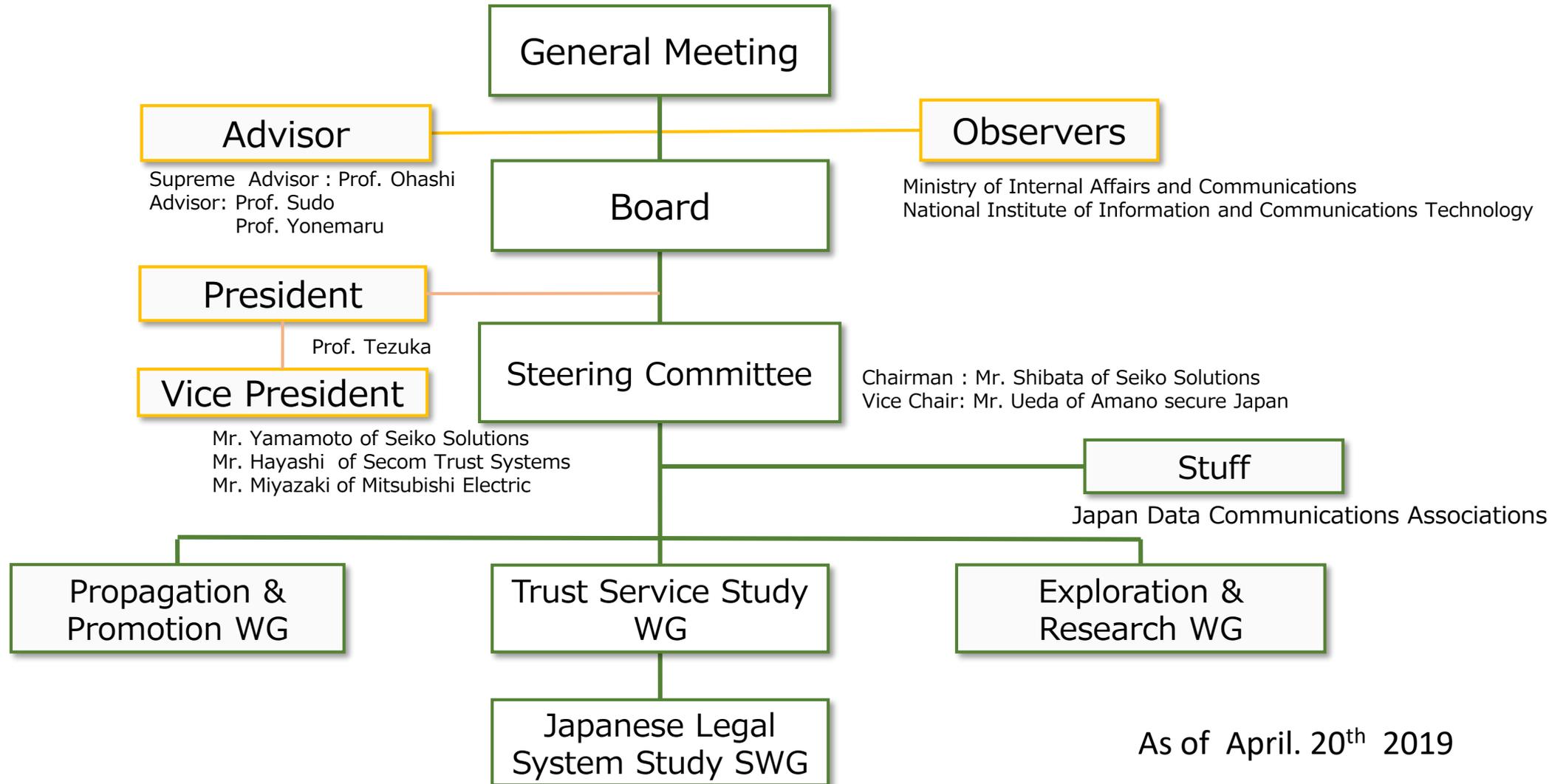
TBF:Time Business Form
JIPDEC:Japan Information Processing and DEvelopment Center
JNSA:Japan Network Security Association
CAC:Certification Authority Conference

- ユーザーがあらゆる情報を収集して総合的に信頼性・安全性を判断することは難しく、ユーザーに代わって情報を収集して判断の材料を提供する仕組みが必要である。
- 本会は、従来のタイムビジネス協議会の活動と成果を受け継ぎつつ、信頼できるサービス（トラストサービス）の在り方と、ユーザーが安心・信頼してサービスを選択できる仕組みを検討し、それを実現する環境整備を推進することを当面の目的とする。
- まずは、信頼できるサービスを可視化し、ユーザーが判断あるいは検証を可能とするためのリスト（トラステッドリスト）を構築する。
- さらに、増大するデジタル情報を長期に保管したり、国境を超えてやりとりすることが日常となる時代において、産学官の連携のもと、海外とも協調して時間・空間を超えて信頼を提供する基盤とスキームの構築を目指すものである。

- It is difficult for users to collect all kinds of information and comprehensively judge reliability and safety, and it is necessary to have a [mechanism for collecting information on behalf of users](#) and providing materials for judgment.
- While inheriting the activities and results of the conventional time business council, we examined the way of reliable service (trust service) and [the mechanism that users can select services Relief and Trust](#), and the immediate objective is to promote the improvement of the environment that realizes it.
- First, visualize trusted services and construct a list ([trusted list](#)) for users to make judgment or verification.
- Furthermore, in the era when storing increasing digital information for a long period of time or exchanging across national borders everyday, [cooperate with overseas](#) to provide trust beyond time and space in cooperation [with industry, academia and government](#), [It aims at building the foundation and scheme](#).



2019年4月20日現在





◆幹事会員 (12社)

アマノセキュアジャパン株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
株式会社コスモス・コーポレーション
サイバートラスト株式会社
株式会社サイバーリンクス
セイコーソリューションズ株式会社
セコムトラストシステムズ株式会社
株式会社TKC
寺田倉庫株式会社
株式会社ハイパーギア
三菱電機株式会社
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社

◆賛助会員 (18社)

アドビ システムズ株式会社
アンテナハウス株式会社
株式会社インフォーマート
株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイト
株式会社エヌデー
株式会社オーエムシー
GMOグローバルサイン株式会社
JFEシステムズ株式会社
スカパーJSAT株式会社
セコム株式会社
株式会社帝国データバンク
ドキュサイン・ジャパン株式会社
日本電子認証株式会社
株式会社日立製作所
株式会社PFU
弁護士ドットコム株式会社
三菱電機エンジニアリング株式会社
リコージャパン株式会社

◆特別会員 (個人・業界団体)

手塚 悟 (慶應義塾大学)
東條 吉純 (立教大学)
久保田 隆 (早稲田大学)
中村 素典 (京都大学)
宮地 充子 (大阪大学)
牧野 二郎 (牧野総合法律事務所)
宮内 宏 (宮内・水町IT法律事務所)
足立 昌聰 (インハウスハブ東京法律事務所)
袖山 喜久造 (SKJ総合税理士事務所)
関 和郎 (特許業務法人第一国際特許事務所)
北村 光司 (Seiju国際知財事務所)
下出 一 (株式会社サビエンティスト)
三谷 慶一郎 (株式会社NTTデータ経営研究所)
漆鳥 賢二 (富士ゼロックス株式会社)
一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
電子認証局会議 (CAC)
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会 (SIOTP)
公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 (JIIMA)
一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

Field		Members	Special Members	Total
Academia			7	7
Industries	TSA (Time Stamp Authority) TAA (Time Assessment Authority)	8		8
	CA (Certification Authority)	8		8
	Trust Service Application Servicer	16		13
	Conformity Assessment body	1	1	2
Experts	PKI, Legal, Tax, Intellectual property		9	9
Organizations	Computer Software, IoT, PKI, CA, Document Record,		5	5

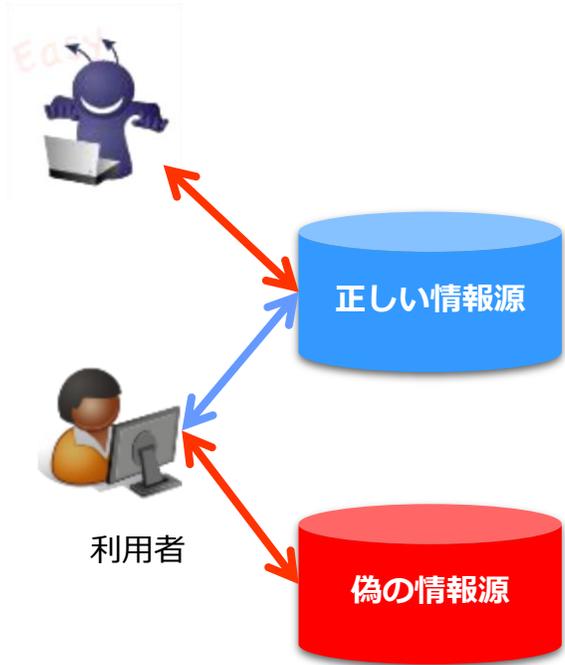
As of April. 20th 2019

- Society5.0の実現に向けて：TSFの設立
- 日本のトラストサービス
- 日本におけるトラストサービス検討の課題
- トラストサービス検討ワーキンググループ

- Toward Realization of Society 5.0: Establishment of JTTSF
- **Trust Service in Japan**
- Trust service considerations in Japan
- Trust Service Working Group

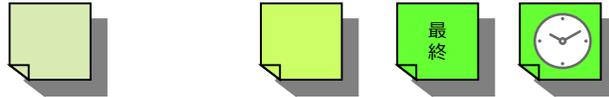
JTSF 流通される情報の信頼性を阻むリスク

情報のやりとり



情報の生い立ち

生成 登録 更新 承認 確定 保存 活用 廃棄



なりすまし

情報鮮度の低下

情報精度の低下

改ざん

ねつ造

劣化・破壊

見読性の喪失

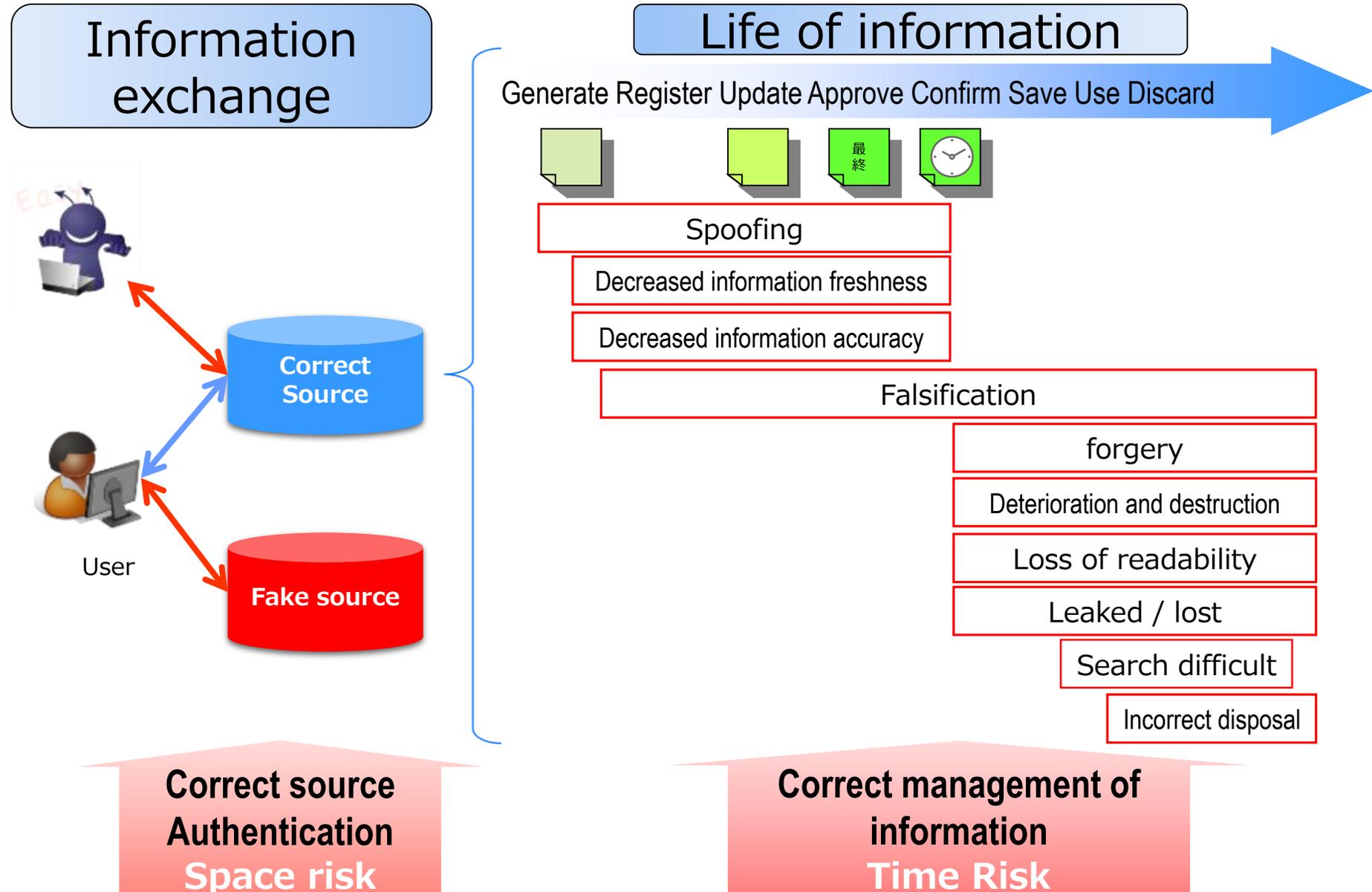
漏洩・紛失

検索困難

誤廃棄

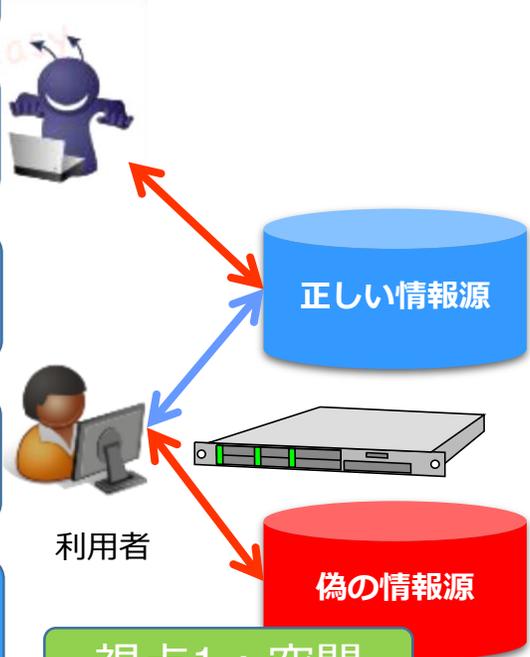
正しい出所認証
空間リスク

正しい情報の管理
時間リスク



情報のやりとり

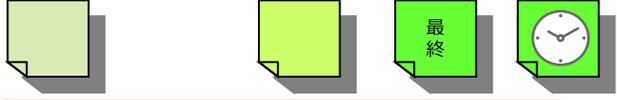
- 自然人認証
- 組織認証
- モノ認証
- ウェブサイト認証
- リモート署名
- eデリバリ



視点1：空間

ネットワークに繋がる人・組織・モノの正当性を確認できる仕組みの確保

情報の生い立ち

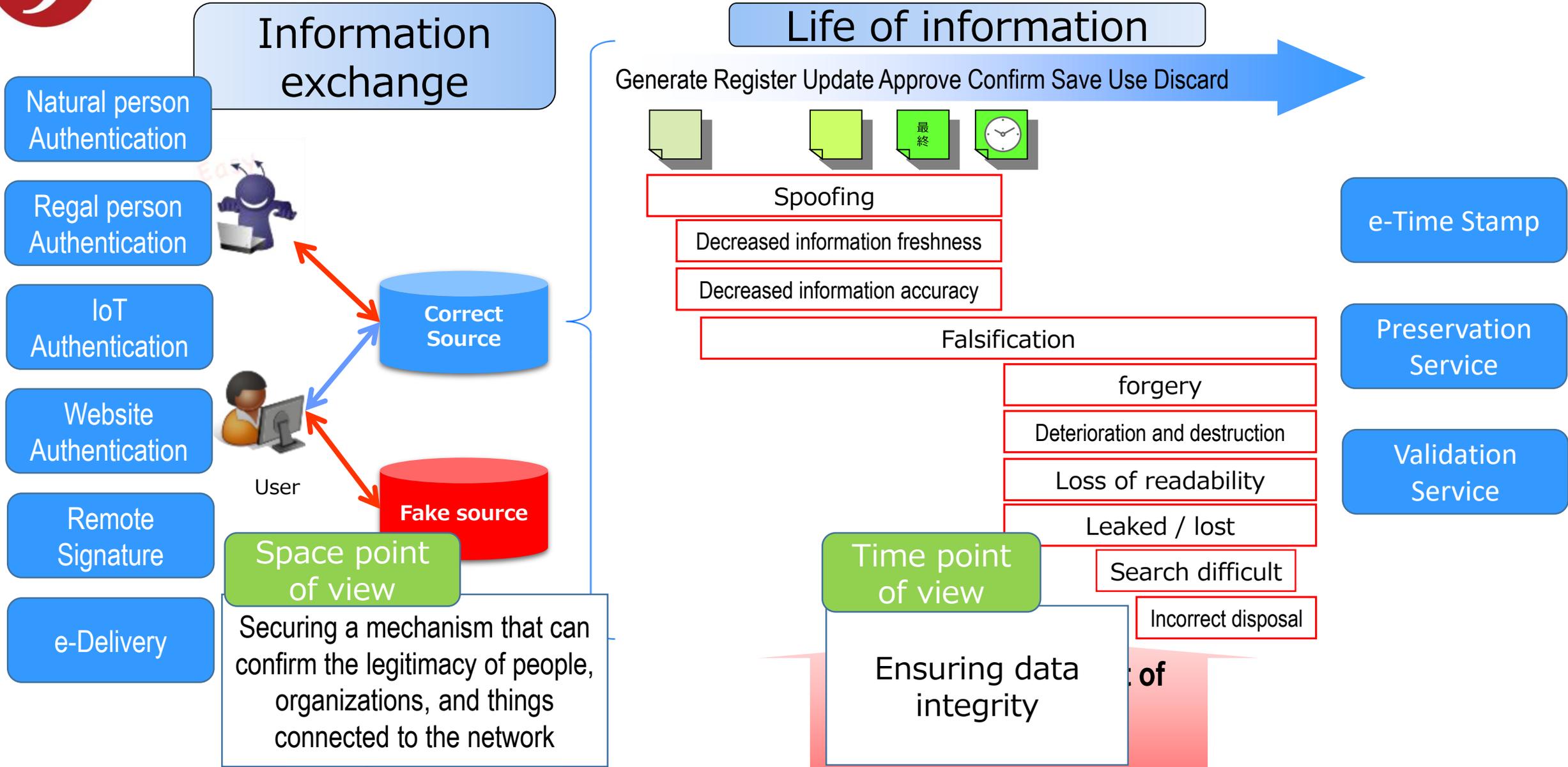


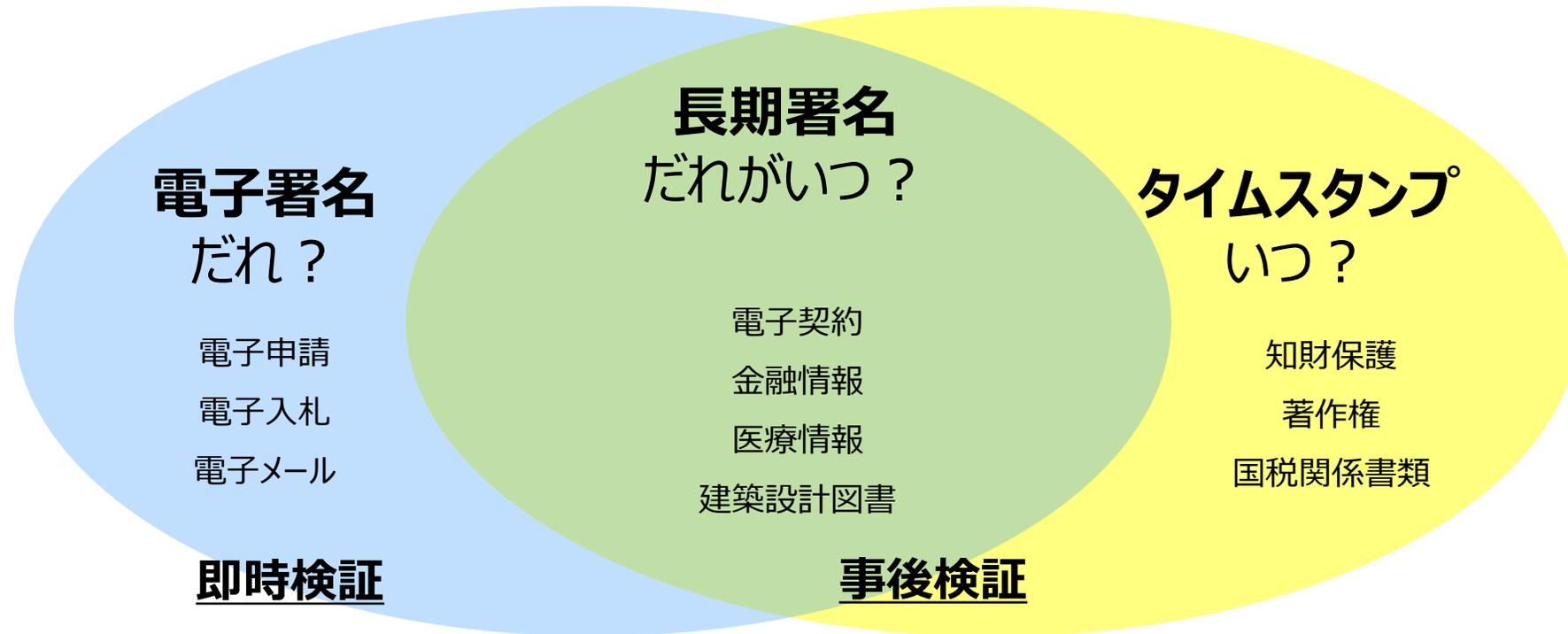
- なりすまし
- 情報鮮度の低下
- 情報精度の低下
- 改ざん
- ねつ造
- 劣化・破壊
- 見読性の喪失
- 漏洩・紛失
- 検索困難
- 誤廃棄

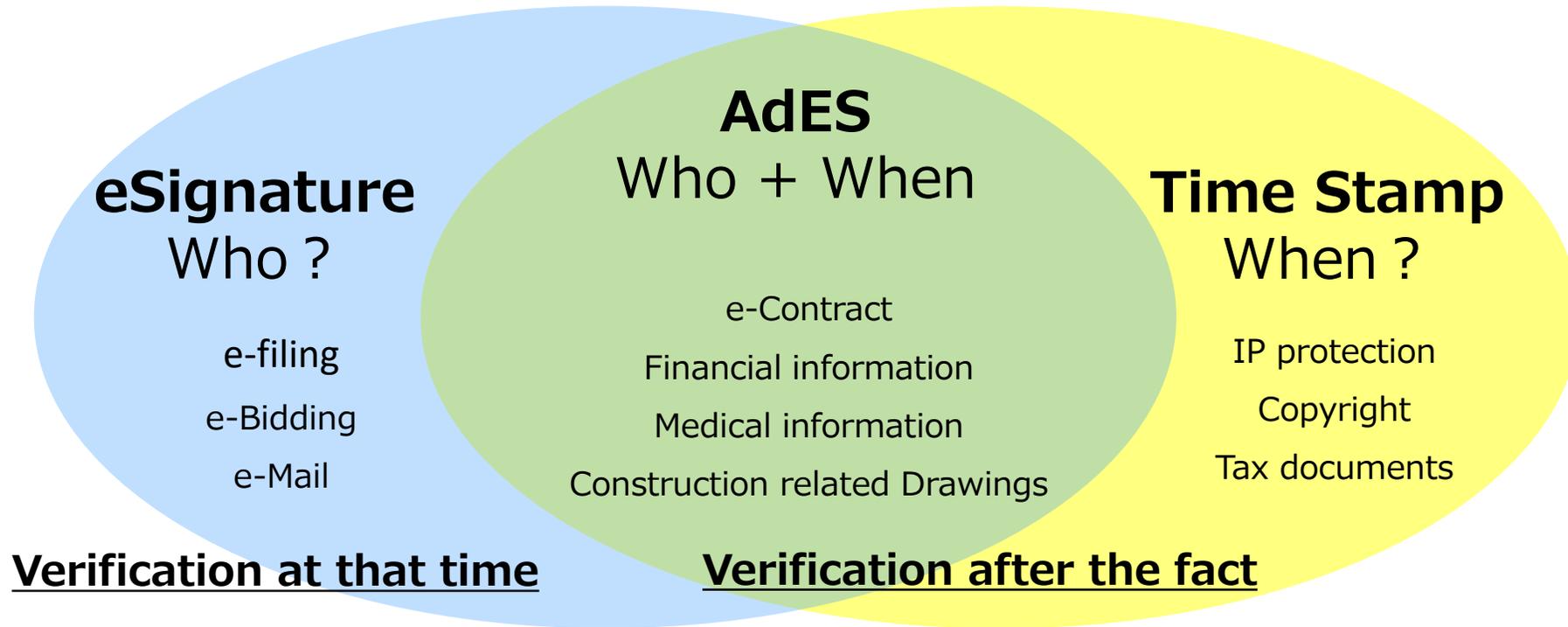
視点2：時間

データの完全性の確保

- タイムスタンプ
- 保管サービス
- 検証サービス







市場	目的	市場	サービス	根拠
医療情報	紙原本の廃棄 BCP、訴訟対応 個人情報保護	病院：8,412 一般診療所：101,471 歯科診療所：68,609 (H29.10厚生労働省)	電子署名 タイムスタンプ	厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(第5版 '17年5月) 経済産業省「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン」(第2版 '12年10月)
知財保護	訴訟対応 冒認出願対策 BCP、営業秘密担保		タイムスタンプ	特許庁「先使用権制度の円滑な活用に向けて」(第1版'06年6月、第2版'16年5月) オープン&クローズ戦略、INPITタイムスタンプ保管サービス ('17年3月開始)
電子帳簿 保存法	紙原本の廃棄 コンプライアンス	電子帳簿保存法承認件数： 200,726件 うちスキャナ保存：1,846件 (H29.10国税庁)	タイムスタンプ	電子帳簿保存法第4条：国税関係帳簿書類の電磁的記録による保存 ('05年1月) 同施行規則第3条改正 ('15年3月、'16年3月)
電子契約 電子商取引 証書配布	印紙税削減 郵送費軽減 業務効率改善 印刷費用削減		電子署名 タイムスタンプ リモート署名	国税庁のタックスアンサー、e-文書法 ('05年4月) 電子帳簿保存法第10条：電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存 ('05年1月) 同施行規則第8条改正 ('15年3月)
建築関連 図書	紙原本の廃棄 BCP 業務効率改善	建築士：1,091,887 建築士事務所：114,983 (H23上半期.国土交通省)	電子署名 タイムスタンプ	e-文書法：建築基準法、建築士法 ('05年4月) 国土交通省：国総建第177号(建設業法：'08年10月) 国住指第394号(建築基準法：'14年5月) 消防庁：消防予第269号(消防同意等の電子化に向けたシステム導入対応マニュアル：'17年9月)

Markets	Goals	Market Size	Services	Relying Documents
Medical Information	Disposal of paper-based original doc. BCP Dispute resolution Protection of personal information	Hospital : 8,412 General clinic : 101,471 Dental clinic : 68,609 (2017.Oct)	eSignature, Timestamp	Ministry of Health Labor and Welfare "Guidelines on secure management of medical information system" Ver.5 (May 2017) Ministry of Economy, Trade and Industry "Guidelines on medical information management for Information processing service operators" (Oct 2012)
IP Protection	Dispute resolution Abusive application resolution BCP Protection of trade secrets		Timestamp	Japan Patent Office "Guidelines for the Prior User's Rights Systems" (Ver.1 Jun 2006, Ver.2 May 2016)
National tax documents	Disposal of paper-based original doc. Compliance	Number of approvals : 200,726 (Internal)Scanner : 1,846 (2017.Oct)	Timestamp	The ordinances on storage of electronic account books Art. 4: preservation of national tax related documents in electronic form (Jan 2005) Revision of its implementing Rules Art. 3 (Mar 2015, Mar 2016)
e-Contract e-Commerce Certificate-distribution	Reduction of stamp tax Reduction of postal cost Improvement of operational efficiency Reduction of printing cost		eSignature (Remote Signature), Timestamp	Tax Office Tax Answer, e-Document Law (Apr 2015) The ordinances on storage of electronic account books Art. 10: Electronic preservation of electronic commerce information (Jan 2005) Implementing Rules Art. 8 Revision (Mar 2015)
Construction related Drawings	Disposal of paper-based original doc. BCP Improvement of operational efficiency	Architect : 1,091,887 Architect office : 114,983	eSignature, Timestamp	e-Document Law: Building Standard Law, Act on Architects and Building Engineers (Apr 2005) Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism: Notification No. 177 (Construction Business Act: Oct 2008) Notification No. 394 (Building Standards Law: May 2014)

2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

電子署名法
2000年

e文書法
2005年

世界最先端IT国家創造宣言
2013年

Society5.0

eJapan戦略において
電子申請推進
→ネットを介して申請者の
本人性確保が求められた

法的保管義務がある書類
の電子化容認
→開始日の確定と保管
期間中の真正性確保が
求められた

電帳法
H28改正

電帳法
H17改正

電帳法
H27改正

総務省
タイムビジネスに係る指針

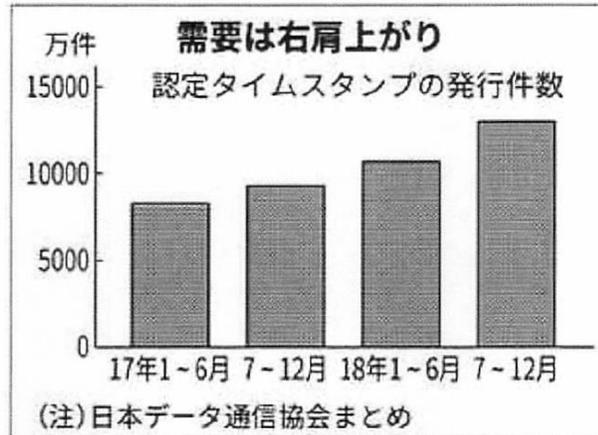
視点2：時間

最近の発行数の増大化
電子データの完全性要
求意識の表れ

視点1：空間

タイムスタンプ

電子データの信頼性担保



▽：インターネット上の文書や画像などの電子データについて、いつ作成されたかなどを第三者に証明できる仕組み。まずデータの作成時に内容を数値化して暗号にしておく。後日、中身を調べたい場合は、この暗号を解いて数値に戻し、元の数値と照合する。2つの数値が一致しなければ、データの

日本経済新聞2019年1月30日記事より

タイムスタンプ数発行推移 (S社例)

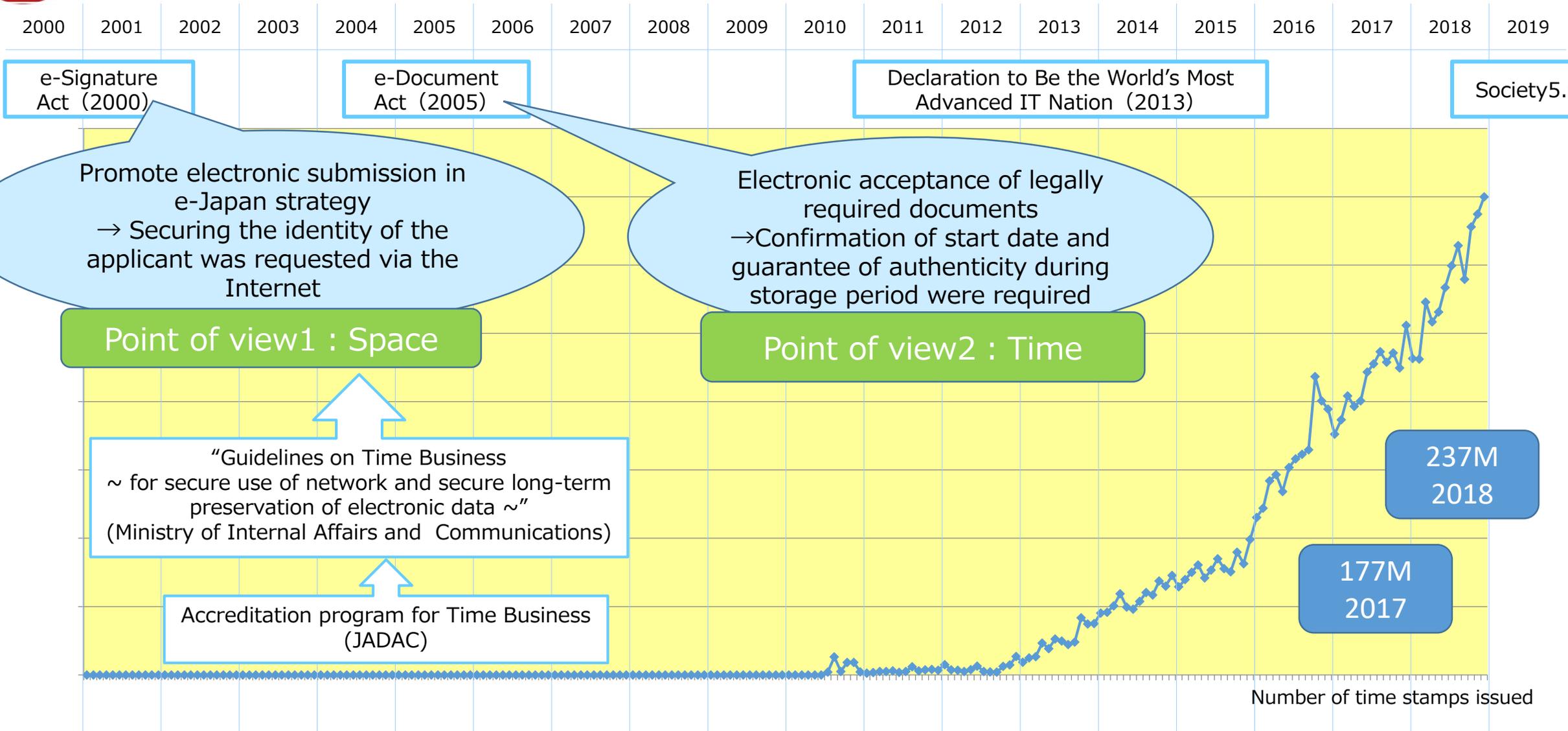
タイム
ビジネス
研究会

タイムビジネス
推進協議会 (TBF)

タイムビジネス協議会 (TBF)

トラストサービス
推進フォーラム
(TSF)

Trend of Time Stamp number



どちらも暗号技術を利用した電子データの**完全性を担保する技術**ではあるが利用目的が異なる

法整備されているもの
 ・自然人の認証（電子署名法）
 ・法人から委任された者の認証（電子委任状法）

未整備なもの
 ・法人・組織から発出されたことの認証
 ・機器の認証

電子署名
だれ？

電子申請
 電子入札
 電子メール

即時検証

eJapan戦略では電子申請・入札等における**本人（自然人）認証**が主なアプリケーションだった

長期的に完全性が求められる電子記録について規定が整備されていない。

長期署名
だれがいつ？

タイムスタンプ
いつ？

知財保護
 著作権
 税関係書類

タイムビジネス信頼・安心認定制度があるが**民間の認定制度であり法的根拠が無い。**

+ トラスト

記録が伴うワークフローは、紙書類による規定（文化）があるが、規定が曖昧なため電子化を躊躇

課題1：基準が未整備
このサービスは正しくて有効なのだろうか？

課題2：安定性
長期に亘ってサービスを利用して大丈夫なのだろうか？

課題3：越境対応
海外取引で通用するのだろうか？

Maintained by law

- Authentication of natural persons (e- signature Act)
- Authentication of persons delegated from corporation (e-Power of Attorney Act)

Not maintained

- Certificate of being issued from organization
- Authentication of equipment

eSignature

Who ?

e-filing

e-Bidding

at that time

AdES

Who + When

Time Stamp

When ?

protection

copyright

documents

Workflow with recording has a rule (culture) by paper documents, but computerization **hesitates** to adopt because the rule is vague.

There is no provision for electronic records that require completeness over the long term.

We have time business Accreditation Program, but it is a private system and there is no legal basis.

+ TRUST

In the eJapan strategy, the main application was authentication of the person (natural person) in e-filing and bidding etc.

Subject1 : Undeveloped standard
Is this service correct and valid?

Subject2 : Stability
Is it okay to use the service for a long time?

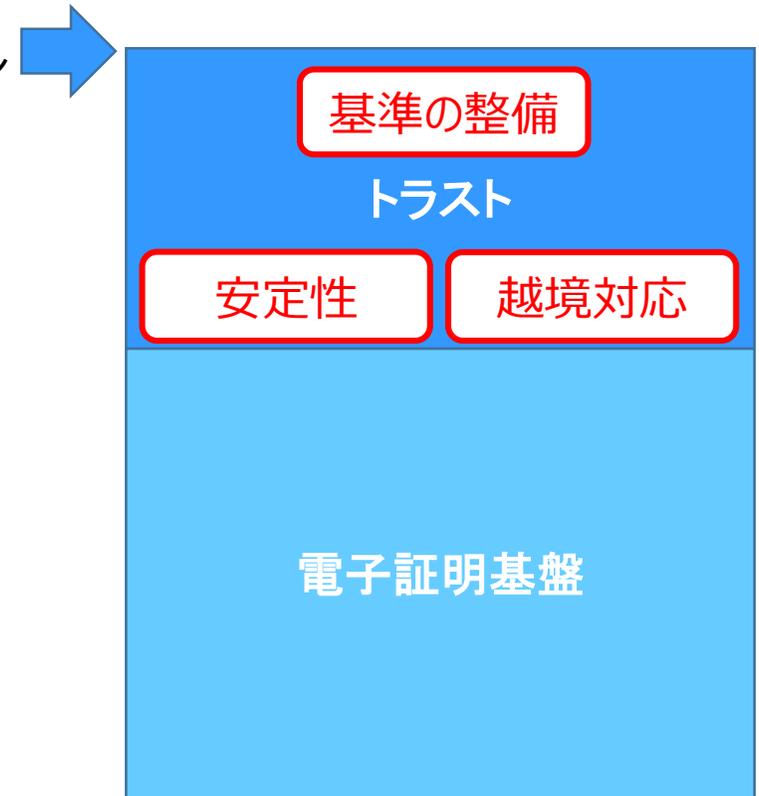
Subject3 : Cross-border response
Is it valid for overseas trading?

Society5.0実現には、流通する情報の信頼を保証するトラストサービスが必要

期待される
「安全・安心」レベル

トラストサービスとは

- 期待される安全・安心を実現するサービス
- 【要件】
- 期待通りに動くこと
 - 自ら検証することなく信じて使うことができること
 - どこでも誰でも利用できること



To realize Society 5.0, we need a trust service that guarantees the trust of the information being distributed

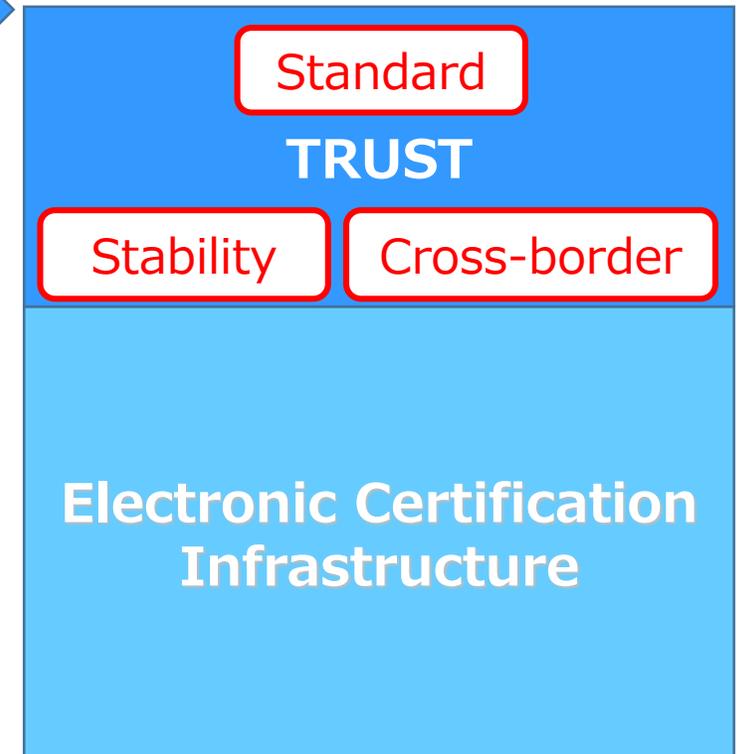
expected
"Safety / relief" level 

Trust Service is

- Services to realize the expected safety and security

【Requirement】

- Work as expected
- Believe and use without verifying myself
- Anyone can use anywhere



- Society5.0の実現に向けて：TSSFの設立
- 日本のトラストサービス
- 日本におけるトラストサービス検討の課題
- トラストサービス検討ワーキンググループ

- Toward Realization of Society 5.0: Establishment of JTTSF
- Trust Service in Japan
- **Trust service considerations in Japan**
- Trust Service Working Group

包括的なトラストサービス
に関する制度の枠組みの
検討

課題1：曖昧な基準、課題2：長期に亘って利用できるか

民間の取り組みは、業界や分野別になることが多く、業界別に異なる基準となり、業界横断のシステムやサービスなどの発生を阻害することで、経済発展を妨げかねない。

[1-1]トラストサービスの整備と活用の仕組み

[1-2]トラストサービスを活用して社会の安全性・生産性を向上するための法制度の整備

[1-3]トラストサービスに関する包括的な適合性評価制度の整備

海外諸国とのトラストサー
ビスの相互承認の進め方
に関する検討

課題3：越境対応（国際的な相互運用）

国際間の取引やルール決めなどでは、国の取り決めでなければ対等な関係になれない。

そのため場合によっては、相手国のルールを強要され、国の自主性を損なうことになりかねない。

[2-1]トラストサービス及び認証等に関する枠組みのすり合わせ

[2-2]具体的なトラストサービス相互運用の仕組みの確立

[2-3]国際商取引の観点からのトラストサービスの位置づけの整理

Examination of the framework of the comprehensive trust service system

Sub1 : Standard, Sub2 : Stability

Private initiatives are often by industry or sector, and have different standards by industry,

Inhibiting the emergence of cross-industry systems and services may hamper economic development.

[1-1] Structure of maintenance and utilization of trust service

[1-2] Development of legal system to improve social safety and productivity by using trust service

[1-3] Maintenance of comprehensive conformity assessment system for trust service

Examination about how to proceed mutual approval of trust service with foreign countries

Sub3 : Cross-border (International mutual recognition)

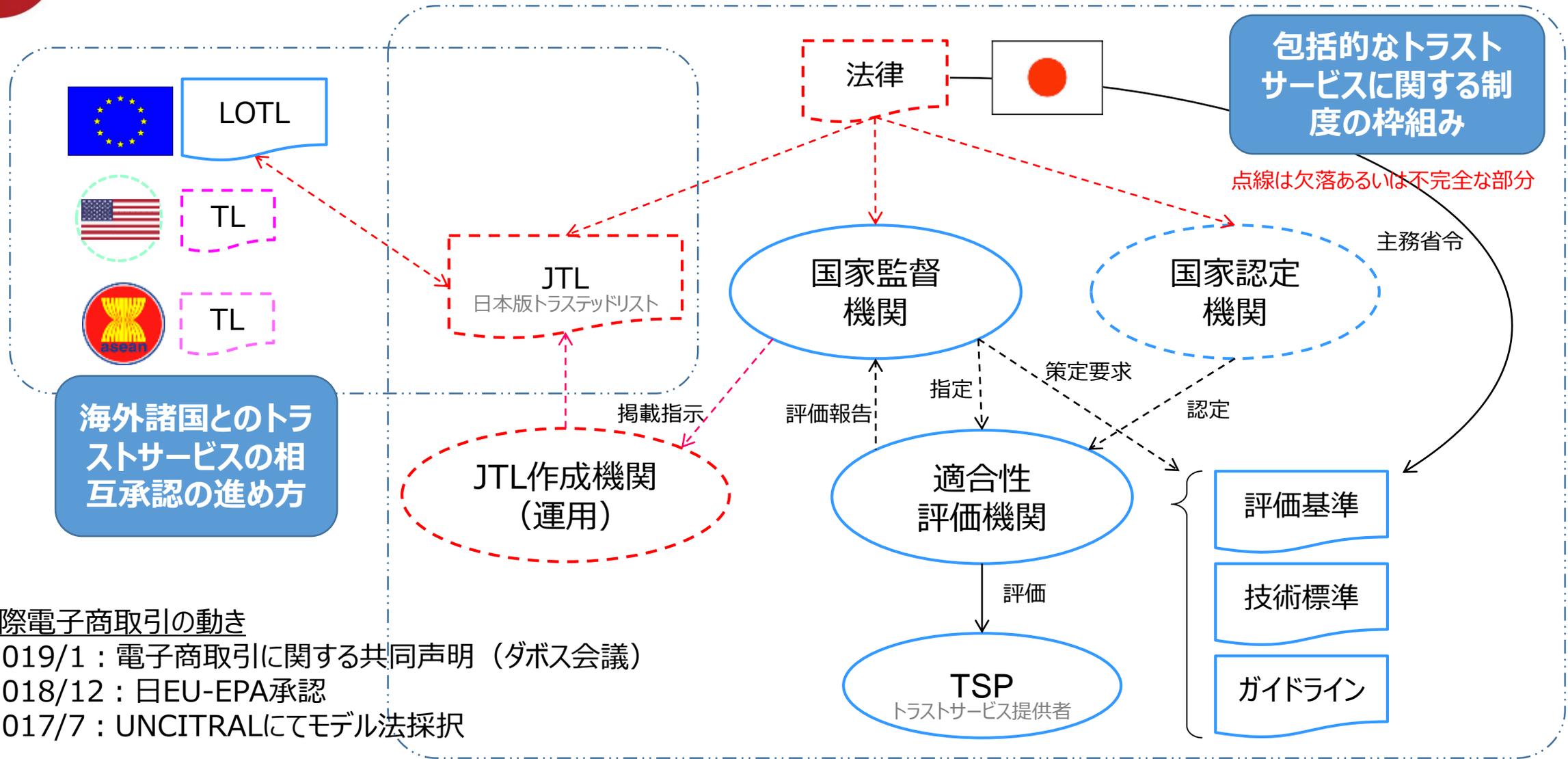
International transactions and rule-making can not be equalized without national arrangements.

Therefore, in some cases, the rules of the partner country may be compelled, and the autonomy of the country may be impaired.

[2-1] Alignment of trust service and certification frameworks

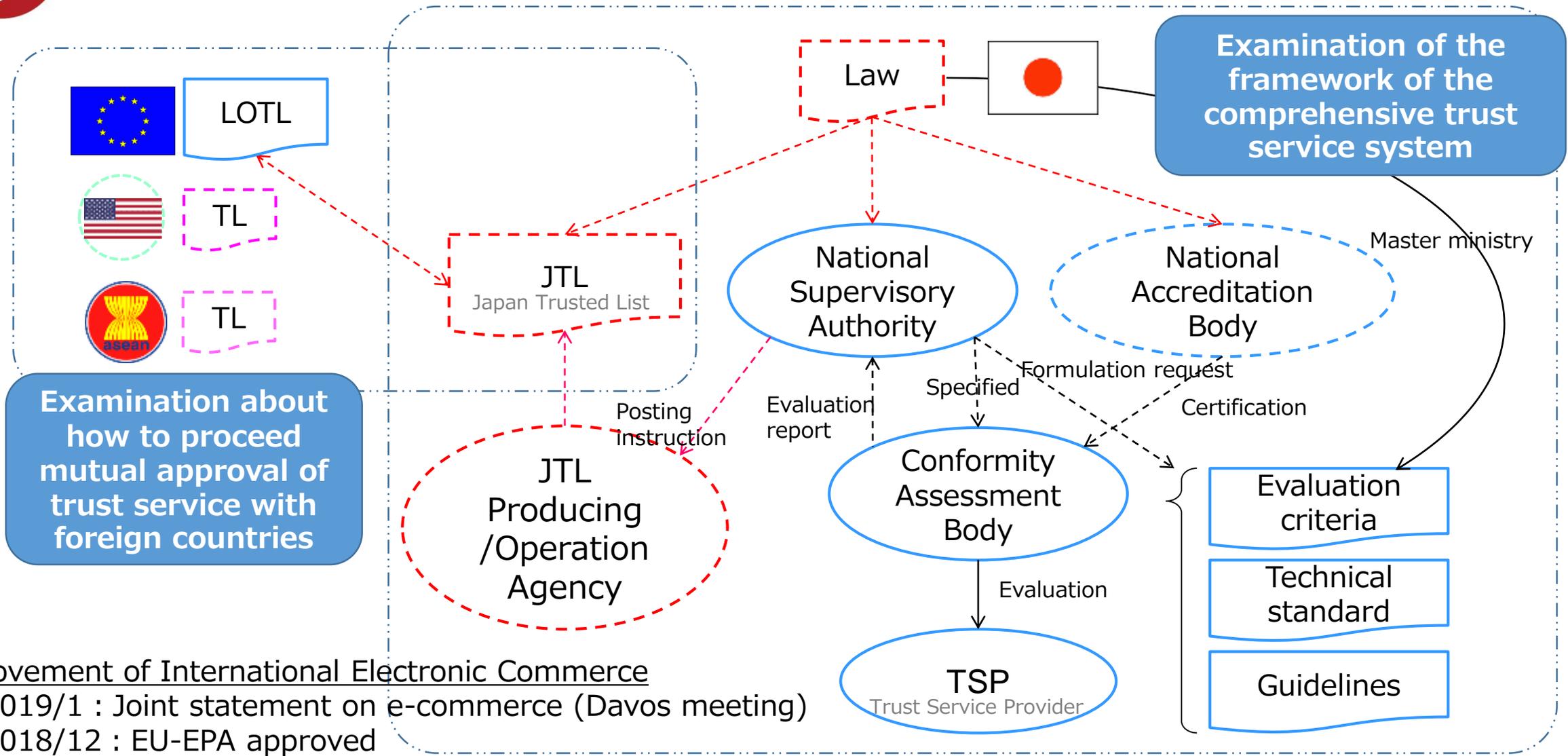
[2-2] Establishment of concrete trust service interoperability mechanism

[2-3] Organizing the position of trust service from the perspective of international commerce



海外諸国とのトラストサービスの相互承認の進め方

- 国際電子商取引の動き**
- 2019/1 : 電子商取引に関する共同声明 (ダボス会議)
 - 2018/12 : 日EU-EPA承認
 - 2017/7 : UNCITRALにてモデル法採択



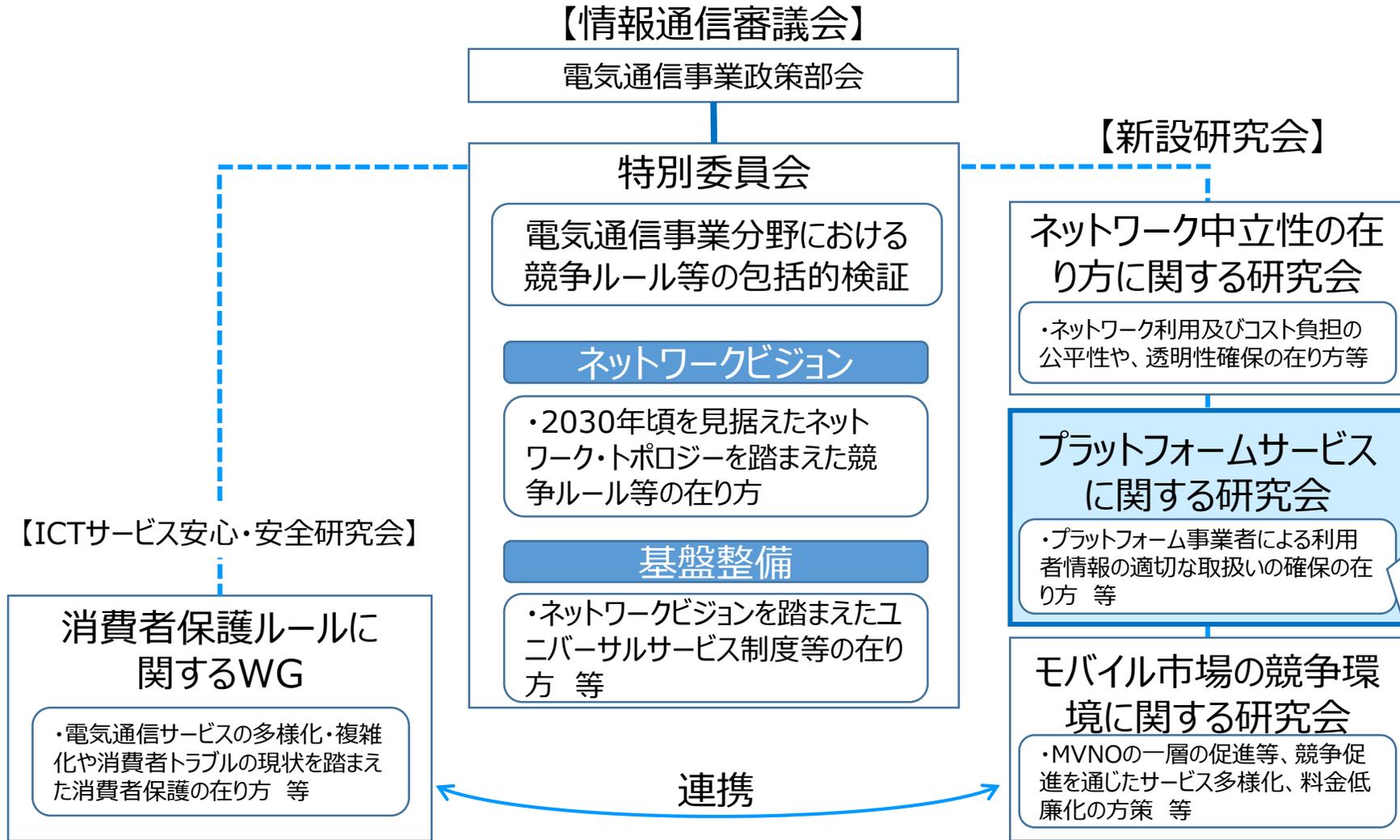
Movement of International Electronic Commerce

- 2019/1 : Joint statement on e-commerce (Davos meeting)
- 2018/12 : EU-EPA approved
- 2017/7 : Adopted model law at UNCITRAL

- Society5.0の実現に向けて
- 日本のトラストサービス
- 日本におけるトラストサービス検討の課題
- **トラストサービス検討ワーキンググループ**

- Toward Realization of Society 5.0: Establishment of JTTSF
- Trust Service in Japan
- Trust service considerations in Japan
- **Trust Service Working Group**

2030年頃を見据えたネットワークビジョンに関する考察
 〈議論のたたき台〉2018年10月4日 52pageより



課題③トラストサービスの在り方

■ オンライン上でサービスを利用する際には、本人確認や意思・権限の確認等を行うため、電子認証や電子署名、タイムスタンプなどが利用される場合がある。 ※ 電子認証の例：ログインの際のID・パスワードによる認証等

■ 我が国では、電子署名及び認証業務に関する法律（平成12年法律第102号）に基づく電子署名のサービスや、総務省「タイムビジネスに係る指針」の規定に基づくタイムスタンプのサービスが提供されているところ。

■ EUでは、電子取引における確実性を確保し、市民、企業の経済活動の効率化を促進するため、2014年8月にeIDAS（electronic Identification and Authentication Services）規則を発効し、トラストサービスに関して規定。

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/platform_service/index.html

Key issues

- (1) Issues concerning the difference in conditions and rules of handling user information (secrecy of communications, privacy information and so on) between Japan's telecommunications carriers and Japan's and overseas online platform services.
- (2) Issues concerning the ideal state of Japan's trust services and measures to secure interoperability with overseas countries from the viewpoint of promoting smooth data distribution utilizing online platform services in Japan and overseas countries.**
- (3) Others

Members

- 12 people
- Chair : George Shishido (Professor, Graduate Schools for Law and Politics, the University of Tokyo)
- Other members : professors, lawyers, and so on

Schedule

- First meeting on, October 18; second meeting on, November 5
<Scheduled to be held sequentially>
- Planning to summarize issues by the end of FY2018.

「トラストサービス検討ワーキンググループ」開催要綱

1 目的

近年のIoTの爆発的な普及等に伴い、サイバー空間と実空間の一体化が加速的に進展しており、実空間での様々な活動がサイバー空間に置き換わる中で、その有効性を担保するためには、サイバー空間の安全性や信頼性の確保がますます重要な課題となっている。

Society5.0の基盤として、誰からの／何からのデータであるかを確認する仕組みや、データの完全性を確保する仕組みとしてのトラストサービスが不可欠であると考えられる。

このため、「プラットフォームサービスに関する研究会」の下に本ワーキンググループを設置し、我が国におけるトラストサービスに関する課題を整理し、その在り方について、検討を行う。

2 名称

本ワーキンググループは、「トラストサービス検討ワーキンググループ」と称する。

3 検討事項

- (1) 我が国のトラストサービスに係る現状と課題
- (2) 上記(1)の課題を解決するための方策
- (3) その他

4 構成及び運営

- (1) 本ワーキンググループの主査は、プラットフォームサービスに関する研究会の座長が指名する。
- (2) 本ワーキンググループの構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 主査は、本ワーキンググループを招集し、主宰する。
- (4) 主査は、必要があると認めるときは、主査代理を指名することができる。
- (5) 主査代理は、主査を補佐し、主査不在のときは主査に代わって本ワーキンググループを招集し、主宰する。
- (6) 本ワーキンググループの構成員は、やむを得ない事情により出席できない場合において、代理の者を指名し、出席させることができる。
- (7) 主査は、必要に応じ、オブザーバーを招聘することができる。
- (8) 主査は、必要に応じ、外部の関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- (9) その他、本ワーキンググループの運営に必要な事項は、主査が定める。

5 議事・資料等の扱い

- (1) 本ワーキンググループは、原則として公開とする。ただし、主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- (2) 本ワーキンググループで使用した資料は、原則として、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者又は第三者の利益を害するおそれがある場合若しくは主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- (3) 本ワーキンググループの議事要旨は、原則として公開とする。ただし、主査が必要と認める場合については、非公開とする。

6 その他

本ワーキンググループの事務局は、サイバーセキュリティ統括官室が行う。

- 第1回 2019年1月31日：トラストサービスの在り方
- 第2回 2019年2月15日：リモート署名、PAdES
- 第3回 2019年2月28日：タイムスタンプ
- 第4回 2019年3月19日：e-Seal、e-Delivery
- 第5回 2019年4月15日：Webサイト認証、IoT認証
- 第6回 2019年5月13日：リモート署名、論点整理

トラストサービス検討ワーキンググループ（第1回）資料より

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/platform_service/02cyber01_04000001_00016.html

「トラストサービス検討ワーキンググループ」開催要綱

1 目的

近年のIoTの爆発的な普及等に伴い、サイバー空間と実空間の一体化が加速的に進展しており、実空間での様々な活動がサイバー空間に置き換わる中で、その有効性を担保するためには、サイバー空間の安全性や信頼性の確保がますます重要な課題となっている。

Society5.0の基盤として、誰からの／何からのデータであるかを確認する仕組みや、データの完全性を確保する仕組みとしてのトラストサービスが不可欠であると考えられる。

このため、「プラットフォームサービスに関する研究会」の下に本ワーキンググループを設置し、我が国におけるトラストサービスに関する課題を整理し、その在り方について、検討を行う。

2 名称

本ワーキンググループは、「トラストサービス検討ワーキンググループ」と称する。

3 検討事項

- (1) 我が国のトラストサービスに係る現状と課題
- (2) 上記(1)の課題を解決するための方策
- (3) その他

4 構成及び運営

- (1) 本ワーキンググループの主査は、プラットフォームサービスに関する研究会の座長が指名する。
- (2) 本ワーキンググループの構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 主査は、本ワーキンググループを招集し、主宰する。
- (4) 主査は、必要があると認めるときは、主査代理を指名することができる。
- (5) 主査代理は、主査を補佐し、主査不在のときは主査に代わって本ワーキンググループを招集し、主宰する。
- (6) 本ワーキンググループの構成員は、やむを得ない事情により出席できない場合において、代理の者を指名し、出席させることができる。
- (7) 主査は、必要に応じ、オブザーバーを招聘することができる。
- (8) 主査は、必要に応じ、外部の関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- (9) その他、本ワーキンググループの運営に必要な事項は、主査が定める。

5 議事・資料等の扱い

- (1) 本ワーキンググループは、原則として公開とする。ただし、主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- (2) 本ワーキンググループで使用した資料は、原則として、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者又は第三者の利益を害するおそれがある場合若しくは主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- (3) 本ワーキンググループの議事要旨は、原則として公開とする。ただし、主査が必要と認める場合については、非公開とする。

6 その他

本ワーキンググループの事務局は、サイバーセキュリティ統括官室が行う。

- 1st Jan 31st 2019 : State of the Trust Service
- 2nd Feb 15th 2019 : Remote signature、PAdES
- 3rd Feb 28th 2019 : Time stamp
- 4th Mar 19th 2019 : e-Seal、e-Delivery
- 5th April 15th 2019 : Website Auth、IoT Auth
- 6th May 13th 2019 : Remote Signature

reference from

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/platform_service/02cyber01_04000001_00016.html

- TSF年会費

幹事会員：50万円、賛助会員：10万円（いずれも入会金なし）

- TSFに参加ご希望の方、ご質問のある方は下記までお問合せください。

お問合せ先：一般財団法人 日本データ通信協会
 トラストサービス推進フォーラム事務局

メール : tsf@dekyo.or.jp

電話 : 03-5907-3813

Web : <https://www.dekyo.or.jp/tsf/>

- TSF Annual Fee

Board Member : 500,000yen, Supporting member : 100,000yen
(No enrollment fee required.)

- Please contact below for membership or any inquiries:

Contact : Japan Data Communications Association(JADAC)
Trust Service Forum Secretariat

E-mail : tsf@dekyo.or.jp

Tel : 03-5907-3813

URL : <https://www.dekyo.or.jp/tsf/>



デジタルだからできる
情報の
完全性・真正性・責任追跡性
の担保





Digital can secure
Integrity · Authenticity · Accountability
of Information

